

サアド・ハリリー内閣(2009年11月～2011年6月)

CMEPS-J Report No. 32

http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/aljabal/biladalsham/lebanon/ministers/2009_11.htm にて公開。

2015年8月21日に http://syriaarabspring.info/alsham/lebanon_cabinet_2009_11.html に転載。

2018年7月10日に CMEPS-J Report として再刊。

青山 弘之

目次

I. [第1次サアド・ハリリー内閣\(第89代内閣、2009年11月9日大統領承認、12月10日国民議会承認\)](#)

I. 第1次サアド・ハリリー内閣(第89代内閣、2009年11月9日大統領承認、12月10日国民議会承認)

閣僚ポスト	氏名	宗派	所属政党・組織(党派)	陣営
首相	サアド・ハリリー (Sa'd al-Hariri)	スンナ派	ムスタクバル潮流	3月14日勢力
副首相、国防大臣	イリヤース・ムッル (Ilyas al-Murr)	ギリシャ正教	無所属	大統領指名
外務在外居住者大臣	アリー・シャミー ('Ali al-Shami) (b)	シーア派	無所属(親アマル運動)	3月8日勢力
財務大臣	ラーヤ・ハサン (Raya al-Hasan)	スンナ派	ムスタクバル	3月14日勢力
内務地方行政大臣	ズィヤード・バールード (Ziyad Barud)	マロン派	無所属	大統領
環境大臣	ムハンマド・ラッハール (Muhammad Rahhal)	スンナ派	ムスタクバル潮流	3月14日勢力
観光大臣	ファディー・アブド (Fadi 'Abbud) (b)	マロン派	自由国民潮流	3月8日勢力
教育・高等教育大臣	ハサン・ムナイムナ (Hasan Munaymina)	スンナ派	ムスタクバル	3月14日勢力
経済通商大臣	ムハンマド・サファディー (Muhammad al-Safadi) (a)	スンナ派	無所属(国民合意ブロック)	3月14日勢力
公共事業大臣	ガーズィー・アリーディー (Ghazi al-'Aridi) (a)	ドゥルーズ派	進歩社会主義党(民主会合ブロック)	旧3月14日勢力
工業大臣	アブラーハム・ダーダーヤーン (Abraham Dadayan) (b)	アルメニア正教	ターシュナーク党	3月8日勢力
行政改革担当国家大臣	ムハンマド・フナイシュ (Muhammad Funaysh) (a)(b)	シーア派	ヒズブッラー(抵抗への忠誠ブロック)	3月8日勢力
社会問題大臣	サリーム・サーイグ (Salim al-Sayigh)	ギリシャ・カトリック	レバノン・カタール党	(3月14日勢力)
情報大臣	ターリク・ミトリー (Tariq Mitri)	ギリシャ正教	無所属(親ムスタクバル潮流)	3月14日勢力

閣僚ポスト	氏名	宗派	所属政党・組織(会派)	陣営
青年スポーツ大臣	アリー・アブドゥッラー(ʿAli ʿAbd Allah) (b)	シーア派	アマル運動	3月8日勢力
通信郵政大臣	シルビル・ナッハース(Shirbil Nahhas) (b)	ギリシヤ・カトリック	自由国民潮流	3月8日勢力
電力水資源大臣	ジュブラーン・バースィール(Jubran Basil) (b)	マロン派	自由国民潮流	3月8日勢力
難民大臣	アクラム・シュハイブ(Akram Shuhayyib) (a)	ドゥルーズ派	進歩社会主義党(民主会合ブロック)	旧3月14日勢力
農業大臣	フサイン・ハーッジ・ハサン(Husayn al-Hajj Hasan) (a)(b)	シーア派	ヒズブッラー(抵抗への忠誠ブロック)	3月8日勢力
文化大臣	サリーム・ワルダ(Salim Warda)	ギリシヤ・カトリック	レバノン軍団	3月14日勢力
保健大臣	ムハンマド・ハリーフア(Muhammad Khalifa) (b)	シーア派	アマル運動	3月8日勢力
法務大臣	イブラーヒム・ナッジャール(Ibrahim Najjar)	ギリシヤ正教	無所属(親レバノン軍団)	3月14日勢力
労働大臣	ブトルス・ハルブ(Butrus Harb) (a)	マロン派	無所属(クルナト・シヤフワーン会合)	3月14日勢力
国家大臣	ワーイル・アブー・ファーウール(Waʿil Abu Faʿur) (a)	ドゥルーズ派	進歩社会主義党(民主会合ブロック)	旧3月14日勢力
国家大臣	ムナー・ウファイシュ(Muna ʿUfaysh)	ギリシヤ正教	無所属	大統領指名
国家大臣	ジャーン・オガサービヤーン(Jan Ughasabiyān) (a)	アルメニア正教	ラームガヴァーン党(レバノン第1ブロック)	3月14日勢力
国家大臣	アドナーン・カッサール(ʿAdnan al-Qassar)	スンナ派	無所属	大統領指名
国家大臣	ユースフ・サアーダ(Yusuf Saʿada) (b)	マロン派	マラダ潮流	3月8日勢力
国家大臣	ミシェル・フィリアウン(Mishal Firʿawn) (a)	ギリシヤ・カトリック	無所属(レバノン第1ブロック)	3月14日勢力
国家大臣	アドナーン・サイイド・フサイン(ʿAdnan al-Sayyid Husayn) (b)	シーア派	無所属	大統領指名

(注)(a) 国民議会議員。(b) 2011年1月12日、レバノン特別法廷における起訴およびラフィーク・ハリリー(Rafiq al-Hariri) 元首相暗殺事件調査における偽証問題をめぐり内閣の姿勢および米国の圧力への屈服に異議を申し立て、辞表を提出。11人の閣僚辞表提出により、サアド・ハリリー内閣は憲法第65条第5項の規定に基づき総辞職し、暫定移行内閣となる。

(出所) *al-Hayat*, November 10, 2009, NNA, November 9, 2009, January 12, 2011 などをもとに筆者作成。